

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月7日
【四半期会計期間】	第32期第3四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	コスモ・バイオ株式会社
【英訳名】	COSMO BIO COMPANY,LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 笠松 敏明
【本店の所在の場所】	東京都江東区東陽二丁目2番20号
【電話番号】	03-5632-9600
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 世良 伸也
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区東陽二丁目2番20号
【電話番号】	03-5632-9600
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 世良 伸也
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第31期 第3四半期連結 累計期間	第32期 第3四半期連結 累計期間	第31期
会計期間	自平成25年 1月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 1月1日 至平成26年 9月30日	自平成25年 1月1日 至平成25年 12月31日
売上高 (百万円)	5,183	5,245	7,050
経常利益 (百万円)	396	242	444
四半期(当期)純利益 (百万円)	293	183	313
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,346	222	1,200
純資産額 (百万円)	6,943	6,454	6,797
総資産額 (百万円)	8,362	7,708	8,277
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	49.46	30.99	52.82
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	77.3	77.5	76.2

回次	第31期 第3四半期連結 会計期間	第32期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 7月1日 至平成26年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額 (円)	18.00	0.02

- (注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクに重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

今年度に入り、日本経済の復調の明るい兆しが見えてきたと報じられています。しかし、当第3四半期連結累計期間における我が国のライフサイエンス研究関連の試薬・機器市場の動きは、全体的に活発でなく、特に大学、公的研究機関においては、近年の慎重な予算執行の傾向が続いていると捉えています。

このような状況下、当社グループは、今まで以上に商品の充実、情報の発信、納期の改善等、顧客の信頼度向上を図ることに取り組んでまいりました。再生医療研究分野における細胞関連商品や各研究分野での抗体等の販売に注力し、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,245百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

一方、利益面では、為替レートが当第3四半期連結累計期間平均103円/ドル（前年同期95円/ドル）で推移したこと等から、売上総利益は1,810百万円（前年同期比8.9%減）、売上総利益率は34.5%（前年実績38.3%）となりました。販売費及び一般管理費は節減に努め、1,669百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

以上の結果、営業利益は140百万円（前年同期比42.9%減）、経常利益は242百万円（前年同期比38.8%減）となりました。保有する投資有価証券の売却益等が特別損益に計上され、四半期純利益は183百万円（前年同期比37.3%減）となりました。

なお、売上高を品目別にみますと、研究用試薬3,704百万円（前年同期比2.9%増）、機器1,414百万円（前年同期比4.1%減）、臨床検査薬126百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、売上債権（受取手形及び売掛金）が306百万円、有価証券が100百万円減少したこと等により、383百万円減少いたしました。有形固定資産は23百万円増加し、無形固定資産は27百万円減少いたしました。投資その他の資産につきましては、その他有価証券について時価による評価を行ったこと等により、182百万円減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は7,708百万円（前連結会計年度末比569百万円減）となりました。

(負債)

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、未払法人税等が68百万円増加した一方、仕入債務（支払手形及び買掛金）が112百万円減少したこと等により、51百万円減少いたしました。固定負債につきましては、繰延税金負債が205百万円減少したこと等により、174百万円減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における負債は1,253百万円（前連結会計年度末比225百万円減）となりました。

(純資産)

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金が361百万円減少したこと等により、6,454百万円（前連結会計年度末比343百万円減）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,361,600
計	18,361,600

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,048,000	6,048,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,048,000	6,048,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額(百万 円)	資本準備金残 高(百万円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	6,048,000	-	918	-	1,221

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 120,000	-	（注）
完全議決権株式（その他）	普通株式 5,926,400	59,264	（注）
単元未満株式	普通株式 1,600	-	-
発行済株式総数	6,048,000	-	-
総株主の議決権	-	59,264	-

（注）完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
コスモ・バイオ株式会社	東京都江東区東陽二丁目2番20号	120,000	-	120,000	1.98
計	-	120,000	-	120,000	1.98

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,234	1,303
受取手形及び売掛金	2,255	1,949
有価証券	802	701
商品及び製品	960	1,012
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	25	24
その他	255	156
貸倒引当金	6	4
流動資産合計	5,527	5,143
固定資産		
有形固定資産	185	209
無形固定資産		
のれん	4	1
その他	103	79
無形固定資産合計	107	80
投資その他の資産		
投資有価証券	2,211	2,022
関係会社株式	11	11
その他	233	240
投資その他の資産合計	2,456	2,274
固定資産合計	2,750	2,564
資産合計	8,277	7,708

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	566	453
短期借入金	20	20
未払法人税等	0	68
その他	231	225
流動負債合計	818	767
固定負債		
退職給付引当金	222	251
負ののれん	3	1
その他	434	233
固定負債合計	660	486
負債合計	1,479	1,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	918	918
資本剰余金	1,221	1,221
利益剰余金	3,314	3,379
自己株式	67	67
株主資本合計	5,386	5,452
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	836	475
繰延ヘッジ損益	87	48
その他の包括利益累計額合計	924	523
少数株主持分	486	479
純資産合計	6,797	6,454
負債純資産合計	8,277	7,708

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	5,183	5,245
売上原価	3,196	3,435
売上総利益	1,987	1,810
販売費及び一般管理費	1,741	1,669
営業利益	245	140
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	4	8
その他	141	89
営業外収益合計	154	104
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	3	2
営業外費用合計	3	2
経常利益	396	242
特別利益		
保険解約返戻金	5	1
投資有価証券売却益	-	44
その他	4	0
特別利益合計	9	46
特別損失		
固定資産除却損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	405	287
法人税等	117	109
少数株主損益調整前四半期純利益	288	178
少数株主損失()	4	5
四半期純利益	293	183

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	288	178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,042	361
繰延ヘッジ損益	16	39
その他の包括利益合計	1,058	400
四半期包括利益	1,346	222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,351	217
少数株主に係る四半期包括利益	4	5

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

1. 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
減価償却費	69百万円	60百万円
のれんの償却額	3	3
負ののれんの償却額	2	2

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月26日 定時株主総会	普通株式	71	1,200	平成24年12月31日	平成25年3月27日	利益剰余金
平成25年8月6日 取締役会	普通株式	47	8	平成25年6月30日	平成25年9月13日	利益剰余金

(注) 当社は、平成25年1月1日付けで1株につき100株の株式分割を行っております。当該株式分割を考慮した場合、平成25年3月26日決議の1株当たり配当額は12円となります。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月25日 定時株主総会	普通株式	71	12	平成25年12月31日	平成26年3月26日	利益剰余金
平成26年8月7日 取締役会	普通株式	47	8	平成26年6月30日	平成26年9月12日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	49円46銭	30円99銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	293	183
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	293	183
普通株式の期中平均株式数(株)	5,928,000	5,928,000

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成26年8月7日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....47百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....8円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成26年9月12日

(注) 当社定款の規定に基づき、平成26年6月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対し、中間配当金を支払います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月7日

コスモ・バイオ株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 安齋 裕二 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 米山 昌良 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているコスモ・バイオ株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、コスモ・バイオ株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。